

単位制について（提案）

「単位制」とは

- 単位制高等学校は、学年による教育課程の区分を設けず、決められた単位を修得すれば卒業が認められる高等学校。昭和 63 年度から定時制・通信制課程に導入され、平成 5 年度からは全日制課程でも設置が可能となった。

（参考 1）単位制でない制度＝「学年制」

一般の全日制高校の単位認定の仕組み。1 年ごとに必要になる単位が定められており、その単位を修得することによって次の学年に進級する。進級に必要な単位が取れず、留年する場合は、もう一度全ての学習をやり直すことになる。

（参考 2）岐阜県の単位制高校

- ・全ての定時制高校・通信制高校(S63～)、全ての総合学科(H5以降～)
- ・一部の全日制普通科高校(H5以降～) 各務原西、本巣松陽、不破、東濃、中津
- ・来年度単位制に移行（H30～）岐阜、多治見

「単位制」のメリット

- 学年を越えた多様で柔軟な科目選択による少人数や分割授業がより可能となり、進路実現に向けた学びの選択肢が拡大する。
- 多様な科目が開設できるように、配置される教員数が増加する。

吉城高校のめざす「単位制」

- 「普通科」、「理数科」とともに、生徒一人一人の進路実現に向けて多様な科目選択ができる「**進学型単位制高校**」。ただし、就職希望者や大学進学後の進路を見据えたキャリア教育を充実。
- 単位制となることで、H31入学生以降のカリキュラムをより充実させ、選択肢の増加、少人数による「アクティブ・ラーニング」を充実。

(参考)

東京都立新宿高校（全日制普通科単位制高校）

都心の中心に位置する。（高速バスの終点：飛驒古川←→新宿）
「君の名は。」の男の主人公の高校と言われる。（1学年8クラス）

<経緯>

- 2004年 東京都教育委員会による都立高校改革の目玉の1つとして、進学型の単位制普通科高校に改編。
2012年 進学指導特別推進校にも指定され、年々進学実績を上げている。

<特徴>

- ・通常の必修科目の他に、「必修選択科目（必ずどれかを選択）」、「自由選択科目（希望者のみ7・8限に実施）」とがある。
- ・自由選択科目では、ハンゲル語や中国語など、多様な第二外国語の選択もできる。
- ・卒業生がチューターとして毎日1名、放課後自習室で午後8時まで指導。

1 年次

| | |
|----------------|-----------------|
| 必修科目 | ※自由選択 |
| (33 単位) | (0~4 単位) |

※自由選択科目…英会話、ハンゲル語、中国語、フランス語、ドイツ語

2 年次

| | |
|----------------|-----------------|
| 必修科目 | ※自由選択 |
| (33 単位) | (0~4 単位) |

※自由選択科目…分子生物学、英会話、芸術Ⅱ、ハンゲル語、中国語、フランス語、ドイツ語

3 年次

| | | |
|----------------|------------------------------|-----------------|
| 必修科目 | 必修選択科目 | ※自由選択 |
| (15 単位) | (18 単位) 文系理系それぞれ必要な科目 | (0~4 単位) |

※自由選択科目…美術基礎実習、音楽基礎実習、化学特論、電磁気演習、力学演習